

令和2年度第5回石狩市浜益区地域協議会議事録

【日 時】 令和2年10月15日（木）18：00～20：00

【場 所】 浜益支所旧議場

【資 料】

- 1) 会議次第
- 2) 地域自治区と地域づくり基金（地域自治区振興事業）について
- 3) 令和2年度地域自治区振興事業の実施状況について
- 4) 新年度地域自治区振興事業について
- 5) ワールドカフェ（まとめ）

【出席者】 12名（14名中）

役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠
会長	宮田 勉	○	委員	佐藤 晃一	○	委員	水崎 理	○
副会長	渡邊 隆之	○	委員	阿部 ゆかり	○	委員	寺山 広司	○
委員	岡本 俊介	○	委員	木村 美幸	○	委員	門脇 弥	○
委員	久慈 貞子	○	委員	赤間 香子		委員	羽立 裕子	○
委員	鳴海 翔		委員	渡邊 真奈美	○			

（地域おこし協力隊） 柿岡奈々絵、井上優太

（支 所） 畠中支所長、開発市民福祉課長（併 浜益生涯学習課長）、

宇野市民福祉課保健福祉担当課長（兼 はまます保育園長、浜益国保診療所庶務課長）

地域振興課 船橋主査

（企画経済部） 芳賀主査、瀧坪主任（厚田浜益担当）

（事務局） 佐々木地域振興課長、柿崎主査、小貫主任

【傍聴者】 3名

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - ① アンテナショップについて
 - ② 令和2年度地域自治区振興事業の実施状況について
- 4 協議事項
 - ① 新年度地域自治区振興事業について
 - ② 地域おこし協力隊の募集について
 - ③ ワールドカフェの開催結果等について
- 5 その他
- 6 次回の開催日程について
- 7 閉 会

1 開 会

2 会長あいさつ

【宮田会長】

本日も大変お忙しい中、会議にご出席いただきありがとうございます。今回は次年度の予算を協議するため、いつもより短い間隔での開催となりました。

前回の会議を欠席された方もおりますので、あらためて新任の協力隊をご紹介します。厳しい選考試験を突破して、浜益区の協力隊として10月1日着任した井上優太君です。ご覧のとおり180cmオーバーの長身で、見るからにオーバーオールが似合いそうな、畑仕事が似合いそうな札幌出身の期待の新人です。

【井上隊員】

10月1日に着任した井上優太です。

2週間ぐらい経過して学校や一次産業の現場など行かせてもらい、また、バレーボールや地域の活動にも参加させてもらいました。

よそ者にも温かい、優しいところがいいなぁと感じているところです。本日も参加させていただきますので、よろしくお願いします。

【宮田会長】

井上君には慣れない地ですが、健康に気を付けて3年間辛抱して頑張っていたいただきたいと思います。

浜益に新しい元気な風を送ってもらえることを期待しています。皆様には見かけましたら声をかけていただくなど、温かく迎えていただければと思います。

さて、会議のほうですが、今更申し上げるまでもありませんが、浜益中学校の生徒数の減少と今後に象徴されるように少子高齢化による地域への影響は大変大きいものがあります。

4月の会議で水崎委員より浜益中学校の現状についてお話しがあり、関連して山村留学、そして移住定住と議論が繋がってきたわけではありますが、まずは、おかれている状況を地域の方々と共有し、「自分達に何かできることはないか？」ともに考えていきたいという事で今日に至っています。

このテーマにつきましては、この後の協議の中で提案し意見を頂くこととしておりますが、会議形式を工夫しながら、次回以降の会議でさらに議論を深めていただきたいと思います。

今日は2点の報告と予算要求に関する協議を進めてまいります。よろしくお願いします。

3 報告事項

(1) アンテナショップについて

【事務局】

浜益観光まちづくり推進協議会では、10月11日よりきらり横の浜益中央公園内において、地元特産品の販売PR活動を実施するため、ユニットハウスを用いたアンテナショップを開設しました。

販売品目は地元浜益の農畜水産物、缶詰カレーのイシカリー（タコカレーのみの販売）です。また、浜益Tシャツのオーダーも受け付けております。

当日の運営はNPO法人ezorockさんと協働により、まち協メンバーを含め20名弱で、生産者の方からの代行販売をメインとして行いました。初日は区内の方20名、区外の方43名、合計63名の方々にご来店いただきました。

今後の開設予定は日曜日のみとしており、10月18日、11月1日、8日、15日、天候により開設は未定ですが、22日を最終日として予定しています。

今年は試験的な運営で販売品目は少ないですが、閑散期における浜益の地域振興の実証活動として取り組んでいます。

(2) 令和2年度地域自治区振興事業の実施状況について

【事務局】

それでは実施状況についてですが、地域自治区についてご説明します。

地域自治区は3市村の合併でできたもので、設置期限は令和8年3月31日までとなっています。地域協議会の活動もこれに連動する形となっております。

地域自治区振興基金事業は「地域づくり基金」として平成17年に1億円が積み立てられ、その基金を活用して支援している事業です。区民の意思を反映した特色ある地域づくりを図る事業に活用しています。

実施するためには、協議会委員の皆様からの承認が必要なことと、3年を1スパンとして評価を必要とし、継続する際にも承認が必要というルールがあります。

これまでの実績は資料のとおりですが、基金の残高は約3千7百万円となっております。様々な活用がなされておりますが、地元には無くてはならないものとして定番となった事業や当時の課題となっていた懸案を速やかに解消すべく実施した事業、将来を見据え新しく芽吹きそうな事業など、歴代の協議会委員の皆様からの意見の反映や議論を経て、活用されてきております。

本題の令和2年度の事業実施状況について簡単に説明します。「区民カレンダー制作事業」についてはH18にスタートした継続事業です。例年11月頃に実行委員会を開催し制作準備を進めます。発行部数は1,000部、印刷業者にお支払いする費用が60万5千円で1/2以内を補助しています。補助金以外の財源は広告料や販売収入で賄う予定です。

次に「ヘルシーウォーク事業」についてはコロナの影響を受けて中止となっております。次年度以降についてはフットパス事業へ引き継ぎたいと考えております。活動はありませんので支出も発生していません。

次に「浜益区水産物等普及プロジェクト」については、内容を大幅に変更して活動を行っています。

まず、朝市についてはコロナですべて中止となりました。その代わりに漁協青年部で知恵を絞り、来訪が叶わない人達、浜益の食材を手に入れたい人達のためにオンラインショップを開設してPRを行っています。また、海をきれいにしようと、海浜美化活動も実施しました。

例年、皆さんが楽しみにしている、みなとまつりについてもコロナ過で中止しました。刻々と変わる感染状況ではありましたが、何かできないか、漁協青年部や関係者で相当な意見交換を行ったと伺っています。結果、コロナの感染防止対策を施しながら、サマーイベントを代替実施しています。

このイベントはよそに大きく取り上げられることはありませんでしたが、参加された区民の皆さんの目には港まつりにも劣らない事業内容であったと思います。

次に「増毛山道トレッキング事業」についてです。このイベントは、増毛山道の復刻を契機に平成29年からスタートした事業です。今年はソーシャルディスタンスを確保するため、参加人数を削減して実施しています。初級から上級までコース設定し、それぞれ専門のガイドがついて、安全面への配慮をしながら実施しています。

山道を活用した事業はこのほかにも「NPO法人増毛山道の会」が実施するプログラムが多数ありますが、本基金事業で支援しているものは「こがね山岳会」が主催するもの限定で支援しています。

次に「浜益フットパスウォーク事業」です。本年度新規にスタートした事業で、「いっぺかだれやヘルシーウォーク」の意思を引き継ぎながら、小人数のスタッフで実施が可能かつ、より参加者との交流が深まる取り組みとして浜益観光まちづくり推進協議会が主催し、これまで2回実施しております。全部で4回行う予定でしたが初回はコロナで中止し3回に縮小し実施しています。

残り1回は冬期シーズンにかんじきを履いて風が緩やかな場所を選んで実施する予定です。

以上全体で5事業を実施しておりますが、いずれも事業完了時期が未到来なことや、実績のとりまとめが完了していませんので、実績報告ではなく実施状況としてご報告させていただきます。

～ 質問意見なし ～

4 協議事項

(1) 新年度地域自治区振興事業について

【事務局】

新年度地域自治区振興事業についてご説明します。先ほどの報告事項の内容と重複する部分は割愛させていただきます。

「区民カレンダー制作事業」については例年同様1,000部作成する予定で、事業費も変更ありません。「浜益区水産物等普及プロジェクト事業」については、令和2年度オンラインショップ開設という取り組みが増えましたので、補助金で支援する金額の増額を希望しています。事業費全体では7万

2千円、補助金では4万2千円増を予定しています。事業内容については、朝市は春に6回、港まつりは8月初旬、そのほか浜中生徒を対象とした学習会やネット販売を行う予定となっています。

「増毛山道トレッキング事業」については、例年通りの活動内容で事業費も前年同様です。

「フットパスウォーク事業」については、2年目となり補助率が3/4から1/2となります。事業費全体で4万円の減、補助金では11万円減りますが、1年目に備品等初期投資しましたので活動は問題なく行える予定です。これまで説明した4事業のうち「区民カレンダー製作事業」と「浜益区水産物等普及プロジェクト事業」は3年目の更新年で継続の可否を委員の皆様と協議して頂く事業となっています。新規案件もありますので、その説明の後にご意見を伺いたいと思います。

新規提案事業について説明します。

来年、浜益村開基150周年記念という節目の年になります。節目の年に何か形に残る事業をこの地域振興基金を活用してできないか、宮田会長にも相談させていただき「遊び場150広場」ということで提案させていただきたいと思います。

3年ぐらい前に厚田区が150年の時には記念誌を発行しています。浜益は形に残るものがないかと考えました。この地域協議会でも、小さな子供達が安心して遊べるような遊具など検討できないかなど、以前にも議論がありました。浜益中央公園は遊具がなくて原っぱです。そこに高さ5メートルぐらいの築山とメンテナンスが比較的容易な木製遊具を設置して、「仮称150広場」という遊び場にしたらどうかという提案です。

オープン時に除幕式を開催し、その時に150年を祝うセレモニーをやってはどうかと思います。財源については、トータル3,300千円を見込んでおり、100%地域振興基金を使ってはどうかと思っています。

その他、未確定ですが、事業者やふるさと会などからも協賛金という形でご支援を頂けないかと考えています。それと、国道231の防災工事で残土が発生しているので、そういう土を築山に活用するなど色々工夫してやってはどうかと考えています。

公園の施設ですが、完成後は築山とか木製遊具については区民の皆さんとの協働事業ということで、年に1回ペンキを塗るとか、そういうこともやっていくことによって浜益に暮らす人のシンボルになればいいと思っています。

この公園を作ることにより、今、浜益観光まちづくり推進協議会がアンテナショップなどを試験的に設置し、何となくきらりが道の駅に見えて、周辺一帯が新しい観光資源に使えるような、そういうメリットもあると考えています。

予算要求としては令和3年度の単年度要求ですが、実行にあたっては地域協議会委員の皆さんの中から、指名させていただいて、実行委員会を立ち上げ中身を詰めていきたいと考えております。

【宮田会長】

初めに区民カレンダー製作と浜益区水産物等普及プロジェクト事業の継続について皆さんの意見を伺います。

【渡邊委員】

どちらも区民に大変喜ばれている事業です。これからも継続していただければと思います。

～ 継続で承認 ～

【事務局】

ご承認ありがとうございます。ここで、一つ皆さんの意見をお伺います。

区民カレンダーは従来、区民の皆さんから「古い写真」をお寄せいただき作成してきました。持って来てくれる人も限定的になっており、できれば「現在の浜益」に着目した内容で制作できないかと考えております。正式には今後開催する、カレンダー製作実行委員会で決定することになりますが、協議会委員の皆さんからもご意見を伺いたいと考えています。

リニューアルの理由としては、提供してくれる人が限定的、写真の当時の様子が提供者本人でも説明できないものがある、当時を懐かしむ世代が減っていること、地域協議会のこれまでの議論で、例えば福島児童のプログラムについて、住民が活動を知らなかったという意見や、水崎委員から学校現場についてのお話を聞いて、カレンダーの中に現在生活している子供達とかサロンの活動とか四季折々のイベントとか、浜益の今を紹介した写真を見てもらう方がいいのではないかと事務局では思っ

ています。参考までにご意見を頂きたいのですが、いかがでしょうか？

【寺山委員】

良い意見がないので事務局に一任します。いいアイデアが浮かんだら連絡します。

【宮田会長】

継続事業であります、増毛山道トレッキング事業、フットパスウォーク事業、そして新規で提案しております、開村150年に関連した記念事業について皆さんのご意見をお伺いします。

【門脇委員】

公園のイメージですが、せっかくやるのであれば築山ではなくて、浜益にちなんだ牛の乗り物とかタコの滑り台とか、吉野（新十津川）にあるタコの滑り台、黄金山をイメージする滑り台とか、何か浜益のブランド、浜益をイメージした公園の方が街から来た人も地元の人も喜ぶんじゃないかと思います。

築山が黄金山をイメージしているのであればいいけど、これぐらいの予算付けれるなら、まだ増やしてもいいからもっとやった方がいいと思います。

【事務局】

イメージ図では緩くなっていますが、設計しているのは黄金山の先端をイメージしています。

ただ、あまり急にすると芝刈りなど機械が入れられないので、勾配を緩くと求められていて、人工石滑り台、先ほど出ていたタコの滑り台が人工石なんですけれども、そういうのを入れてみようと思っています。

木製のコンビネーション遊具だと波風あたるとすぐ壊れるので、築山にして斜面に滑り台とか上り下りする階段とかあったら面白いのかなぁと思います。タコとか牛は考えていませんでしたが黄金山はイメージしていました。

【門脇委員】

これからの話だけど、いいなぁと思うし、せっかくやるのであれば地元をイメージした何かが欲しい。

【事務局】

今はたたき台の部分なので、詳細は実行委員会で検討したいと考えています。門脇委員にも知恵を貸していただきたいと思います。

【門脇委員】

これ、予算足りなくなるんじゃないの？

【事務局】

厚田の記念事業規模が300万だったので、それに少し増やしてという設定で考えています。

【寺山委員】

せっかくやるんだったら、公園だけじゃなくて、今やってる直売とかそういう場所とか、トイレなど、合わせてしっかりやった方が、合理的だし、金額は厚田が300だからじゃなく、使えるなら使った方がいいと思います。

みんなが使って満足するのであれば思い切って1千万でも2千万でもかかってもいいような気がします。

【門脇委員】

振興基金のほか、本庁の方からも少し検討してくれるんじゃないの？

【事務局】

事業規模は別として、場所は公園の南側寄りを考えていて、イベント等を行った時に築山をバックにするなども考えています。

【寺山委員】

あとは実行委員に任せます。

【宮田会長】

事業費は増額して要求することはできないの？

【事務局】

振興基金をどれぐらい導入するかというところだと思っています。寄付を集めるかどうかはまだ未確定です。

【事務局】

規模感是人それぞれだと思いますが、そこにお金が落ちる仕組みができていないなど、そういう部分も考えないといけないと思います。

【門脇委員】

アンテナショップを大きくするとかね。

【事務局】

まち協の事務局もやっていますが、僕らとしてはハードに力を入れるのではなく、小さい成功を少しずつ重ねて、実現的、持続可能な部分を探りながら進めていきたいと思っています。

【門脇委員】

利益で牛の乗り物作るとかね！ ちょっとずつ作っていくのもいいと思います。

【寺山委員】

それでもいいです。

【宮田会長】

基金があるといっても限りがありますので、数千万もという訳にはいかないですが、可能であれば少し多めに予算要求して、あとは寄付金をもらった基金に返すような形で進めていくのは可能ですか？

【事務局】

それは可能だと思います。事業費330万円でみていますが、プラスアルファで寄付金をつけてやっていくのもできますし、もう少し広げておいて寄付金が入ったら基金の取り崩しを減らすなどできると思います。そういう意見もあったという事も踏まえてこれから本庁の方々と中身も含めて協議していきます。

【渡邊委員】

石狩市って子育てに手厚くやりますなんて言っていて、向こうは児童館新しく作るとか、図書館の前に新しい公園作ったりしているのに、浜益は子ども少ないから公園作れませんって、なんで私達だけこうやって基金を使って一生懸命公園作ろうってやらなきゃならないのかなって思うですね。

少しぐらいお金出してくれてもいいんじゃないのって思います。公園についてはお母さん達もずっと欲しいと願っているから、お金が落ちないからダメとか、子供が少ないからダメとか言われたら、私達ここで暮らしているのにじゃあどうすればいいんだろうと、1時間も2時間もかけて、弁当用意して都市に遊びに行っています。

【事務局】

渡辺委員からの意見も含め、今後、市長・副市長に予算内容や地域の意見を伝えていきます。

まずは150年というところからのアプローチで、遊具を設置して一つシンボル作りたいなということを進めたいなということです。

【羽立委員】

この件については、遊び場がないということで、今まで散々お話をさせていただいて、やっとここまでこれたのかなあって、うれしく思っています。

ですから何とかもうちょっと充実した遊具、子供達が喜んで遊べるようなところにしてほしいと思いますので、よろしくをお願いします。

【宮田会長】

市では費用対効果が話されるんですけども、浜益のような人口の少ないところは度外視しなければいけない、費用はどうあれ、必要なことは必要だと訴えていきたいと思えます。

あそこの公園は「中央公園」という名前はついているのですが、ご覧のとおりゲートボールする人もおらず、漁協青年部のイベントで1年に1回使うぐらいでもったいないスペースだと考えてきたところです。ちょうど150年の節目でもありますし、予算が通れば派手なものでもなくても、将来維持費のかからないような形で、子供たちのために節目の記念になるものを作ってあげれたらと思って話しを進めてきました。具体的な内容につきましては実行委員会を立ち上げて予算の範囲内で十分検討していただければと思います。

予算の関係はもう少し充実できるものであればその方向で進めてもらいたいと思えます。

【畠中支所長】

皆さんの意見もだいぶ聞かせていただいたので、予算に反映できれば一番いいですし、皆さんの気持ちに沿えるような形にできるよう考えていきます。実行委員会を立ち上げた中でも議論してもらえたらと思いますので、よろしくをお願いします。

【宮田会長】

予算要求もこれからですし、決定もこれからですし、推移を見守りながら相談していきたいと思えます。基本的にはこのような3本の事業について、次年度予算要求していくというので確認させていただきます。よろしいでしょうか？

【岡本委員】

公園の維持管理で冬ってどう考えているのでしょうか？堆積場になっているが、冬もイベントを考えているのでしょうか？

【事務局】

ゲートボール場よりもずっと南側なので、影響はないと考えています。冬の活用については岡本委員にも是非協力していただきたいと考えています。

作ることによって今後の活用とか展開が見えてきたら、子供達も少なくなってますが、思い出とか楽しみとか与えられるような広場になっていたらと、そうなった時にはやはり皆さんの協力がなければ難しいので是非お願いしたいと思えます。

【宮田会長】

よろしいでしょうか？

～ 異議なし ～

それでは事務局提案のとおり、意見も踏まえてよろしくをお願いします。

(2) 地域おこし協力隊の募集について

【事務局】

浜益区の協力隊は現在2名ですが、来年9月末で柿岡隊員が卒業予定です。そこで新年度さらにもう一人、協力隊を募集したいと考えております。先ほどの地域自治区振興事業の予算とあわせて、新年度予算を要求しています。

支所としては4月からの採用を希望しており、早ければ今年中に厚田区と合同で募集活動を開始できればと考えております。年明け1月中旬には東京で開催される、地域おこしフェアにも参加予定です。

どういう人材を募集するかについては、継続協議している移住定住のテーマでこういう人材が欲しいとなれば、絞って募集することも可能と思います。現段階では今年の募集のように観光に興味がある人、一次産業に興味がある人などというように、ターゲットを絞らないで幅広く募集したいと考えております。

～ 異議なし ～

(3) ワールドカフェの開催結果等について

【事務局】

先月の地域協議会では、継続議題の「移住・定住」に関して「ワールドカフェ」というちょっと変わった会議形式で皆さんにアイデアを出していただきました。

3つのテーマを議論したんですが、1テーマごとに委員の皆さんを入れ替えしながら意見交換をしていただきました。それをまとめたのがこの資料になります。

1番目のテーマ「浜益の好きなところ、おすすめは？」の問いをまとめると生き物や自然、食べ物、景色などに関する意見が寄せられました。

2番目のテーマ「浜益以外の方で関わっている人、来ている人はどんな人」ということで皆さんに意見を出していただいたのですが、印象に残っていることは、来ている人と関わっている人とは全く異なるということです。

ただ来るだけではお金は落ちないですし、浜益の魅力に人物・人柄が上がるのに、ただキャンプして帰られたらつながらないですよ？というのがコーディネーターの草野さんの投げかけでした。

いかに浜益にもしくは浜益の人に関わる人を作るのか、そこからアイデアを出しましょうという流れになりました。

それで3のテーマ「もっといろんな方に関わってもらうためには」に移りました。みなさんの会話が盛り上がり過ぎてこの3つ目は短い時間となってしまいました。

結果、皆さんにアイデアを出してはもらいましたが、たくさんの意見から収束することを考えるとまだまだ足りなさを感じています。

そこでご提案ですが、地域協議会が主催者となって回覧などで区民や関わる人に呼び掛けをして「移住・定住」に関する「ワールドカフェ」をやってはどうかと考えています。

11月下旬から12月初旬にきらり、カフェなので気軽に何か食べながら、例えば各班の食べ物の班編成にするとか、珍味班とかデザート班とか参加者の皆さんに持ち寄ってもらいながら、雑談するような感じでできたらなあと考えています。

回覧を配布するだけでは参加者は来ないので、委員の皆さんにも呼びかけをしてもらう必要がありますが、川村先生やエゾロックの学生、自治会役員、協議会OBなどに集まってもらってやりませんかという提案です。

【宮田会長】

移住定住という大変重たいテーマで、個別に各職場等で話し合われたことはあっても、これまで区民全体で話し合われたことはなかったと思います。

今回機会を設けて、皆さんに浜益の状況を再認識していただく、そのなかでまた浜益中学校のことも話題にして理解していただく場になればいいなあと考えているところです。

【渡邊委員】

確かにいろいろな人の意見を聞くのはいいと思うが、ただ心配なのはコロナ感染、高齢者も多く毛嫌いする方もいるので、きちんと感染予防をやらしてもらえれば非常にいいことだと思う。

【事務局】

場所はきらり、相当広く取れますので距離をあけるとか、マスク着用と可能であればバリケードですとか、工夫しながら是非やらせていただきたい。

渡邊委員の意見のなかで色々な人の意見を聞いて、浜益区これから何か自分達にできることがない

かということについて意見を聞きたいというのもありますし、そういう議論をする人達を地域協議会という輪にとどめないで、より多く浜益区民の人に広げていきたいというのが大きな狙いです。そういう動きがこの先のステップにもつながっていくと思いますし、ご賛同いただけるのであれば事務局としてコーディネートしていきたいと考えています。

【渡邊委員】

私は良いと思います。

【渡邊委員】

中学生も参加できたらいいと思います。

【水崎委員】

是非お願いしますという立場でお話しします。

今年は地域の方に学校祭や小中合同の運動会を見ていただきたくても見ていただけない状況でありましたし、ホームページや学校だよりを発信していますが、現在の学校がこんなに小さくなってしまっている、15名、3年生が4名だ、そして小学校は完全に複式になっていて、そして小中合わせてこれだけになっている。7千人出している浜益高校含めてものすごく多く出しているのに今年の卒業生は4名で来年の新入生は2名しかいない可能性がある、という事を区民の皆さんに知っていただいて、場合によっては地域振興課のほうからこのような（チラシ提示）絶大な協力をいただいて、PR活動した報告もしたい。小中の現状ですとか函館で学生がこのようなPRをしてきましたとか報告を聞いていただくとか、そういうこともできるのかなと思っています。

～ 異議なし ～

5 その他

- (1) 修学旅行先でのPR活動について
柿岡隊員よりPRの概要について紹介。

6 次回の開催日程について

第6回協議会は、ワールドカフェを挟んで12月下旬もしくは1月を予定しているが、後日改めて連絡します。

7 閉会

令和2年10月28日 議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 宮田 勉